

AI 特許自動分類

【AI特許自動分類機能リリース】

最先端の自然言語処理を活用したこの画期的なツールは、特許の整理や分析を効率化します。業界標準の自然言語処理モデルに独自の分類戦略やプライベートタクソノミーを組み込ませてカスタマイズをすることが可能です。広範な特許分類ツリーにもシームレスに対応し、組織の特許ポートフォリオ管理をさらに強化する支援を提供します。

大規模なトレーニングは不要

従来のAI分類システムとは異なり、このモデルはユーザートレーニングに時間を費やす必要はありません。大規模言語モデル（LLM）は、複雑な特許言語を解析し主要な技術概念を特定する能力により、高い精度を実現しています。セットアップが完了したら、ユーザーはオンラインで結果を確認し、簡単なインターフェースを使って分類結果に同意または不同意を示すプロセスを実行します。このフィードバックをもとに、分類モデルは自動的に更新され、各クライアントの独自の特許タクソノミーが継続的に精練されていきます。

アナクアの新しいAI特許自動分類モジュールは、特許ポートフォリオの管理と活用を自動化する大きな一歩となります。基盤となるLLMは、過去20年間に公開されたすべての関連特許を学習しており、あらゆる技術分野に対応するプライベート分類モジュールを構築することが可能です。これにより、時間を節約し、一貫性を確保し、特許データから得られる洞察を活用して、より戦略的な意思決定を行うことが可能になります。

この新しいツールがどのように特許業務フローを改善し、知財の最大価値を引き出すか、確認してみてください。

お問合せ先
ContactJapan@anaqua.com



アナクアのAI特許自動分類モジュール

独自の特許分類システムとタクソノミーを使用してAI自動分類システムをトレーニング。一般的な一律のアプローチではなく、クライアント組織独自の知財分類や言語を学習します。

- 特許ポートフォリオの分類を改善し、意思決定力を向上 – ビジネスに効果的な影響をもたらします。
- 競合他社など第三者特許に自分のタクソノミーを適用して競合環境をより深く理解 – 競争優位性を築きます。
- 組織内のタクソノミーに基づいて特許を自動的に分類 – 手動で行われていた作業にかかる時間を節約します。
- 分類や学習のモデルは各クライアントごとに安全に維持管理 – 完全な機密性が確保されます。